



本店ビル外観

経営ビジョン

“一番頼りになるコミュニティ・バンク”をめざす
 〈シンヨウ〉は、地域の皆さまの頼りになる金融機関として、地域の皆さまとの強い信頼関係を築くことが最も大切であると考えています。

経営理念

1. 地域のみなさまとのふれあいの輪を広げます
2. 豊かで、健やかで、ゆとりある暮らしの実現に
 足を使い、労をいとわず取り組みます
3. 金融サービスの向上に努め、地域活性化の
 原動力として、地域の繁栄に貢献します

広島市信用組合の概要

設 立 昭和27年5月 店 舗 数 35店舗
 出 資 金 231億32百万円 職 員 数 379人
 組合員数 70,125人 営業区域 広島県全域 (令和7年3月末現在)



Contents

概要	1	顧客満足度アンケートの報告	42
ごあいさつ	2	キャッシュコーナーや窓口での犯罪防止の取り組み	45
理事長インタビュー	3	苦情処理措置・紛争解決措置への対応	46
格付「A+」継続取得	6	取引時確認のお願い	47
第13次中期3か年経営計画		コンプライアンス(法令等遵守)について	48
「地域とともに、未来を拓く～お客さまへ新たな価値を～」	7	個人情報等保護について	49
令和6年度決算の概況	9	適切な勧誘等の取り組みについて	51
財務諸表	15	リスク管理について	53
主要な経営指標の推移	21	総代会制度について	55
地域密着型金融の取り組み	22	組織図/役員/職員/組合員	57
地域を応援する取り組み	25	資料編	58
文化的・社会的貢献活動	37	索引	80

ごあいさつ

平素より格別のお引き立てを賜り、心よりお礼申し上げます。

当組合の経営内容をご理解いただくため、本年もディスクロージャー誌「業績のご報告」を作成いたしました。経営方針、業績、事業内容や地域貢献活動の状況などを紹介しておりますので、ご高覧いただければ幸甚に存じます。

令和6年度の日本経済は、緩やかな回復基調をたどった一方で、物価高による個人消費の抑制や、米トランプ政権の関税措置などの影響により先行きの不透明感が強まった1年でもありました。

こうしたなか、現場に足を運んで地元のお客さまに寄り添い、必要な資金をタイムリーかつスピーディに使っていただくなど、一貫して本来業務に取り組んでまいりました。

その結果、令和6年度の業績については預金・貸出金とも順調に増加し、経常収益が22期連続増収の202億7百万円となり、初めて200億円を突破するとともに過去最高を更新しました。また、当期純利益も50億22百万円となり、こちらも初めて50億円を突破するとともに過去最高益を更新しました。

こうした業績を収めることができましたのも、地域の皆さまのご支援の賜物と重ねて感謝申し上げます。

今年9月に南支店、12月に鷹の橋支店、来年は12月に古江支店の新築移転オープンを予定しています。今後もこれまで以上に便利で快適な店舗づくりを進め、より親しみやすい金融機関となるよう努めてまいります。

これからも「一番頼りになるコミュニティ・バンク」として、預金と融資の本来業務に特化した経営を継続するとともに、「フットワーク」と「フェイス・トゥ・フェイス」を活かした現場主義にさらに磨きをかけ、地域の皆さまの繁栄に貢献してまいります。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年6月

理事長 山本明弘